

次の世代のための一歩 ～ごみ有料化 その後～

詳細 減量対策課 ☎55-4266

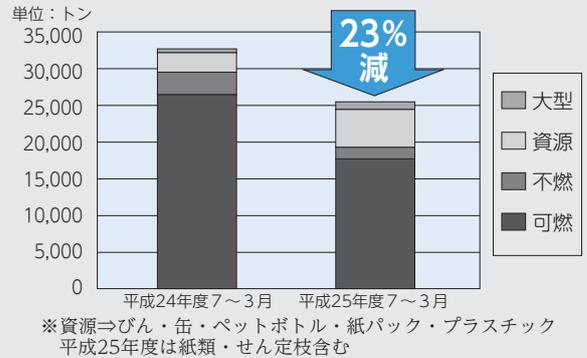
家庭ごみ有料化が始まって10カ月が経ちました。今回は、有料化以降のごみ排出量や、手数料収入の使いみちなど、気になる「その後」についてご紹介します！

有料化前と、どう変わったの？ ごみ排出量

右図のとおり、平成25年7月～26年3月までの家庭ごみ排出量は、有料化前に比べ、可燃・不燃ごみが大きく減少し、プラスチックや紙類などの資源物の回収量が増えました。現時点でマイナス23%、約7,700トンの家庭ごみが削減されています。



図 有料化後9カ月間の家庭ごみ排出量前年度比較



有料化のお金は、どう使われるの？ 家庭ごみ手数料収入の使いみち

指定ごみ袋の売り上げによる収入は、まちをきれいにし、新たな資源を生み出す取り組みに活用されています。平成26年度予算の内訳は以下のとおりです。

家庭ごみ有料化手数料 2億8千5百万円	1.8 億円	資源化のための費用と、市民の取り組みへの支援
	8千 万円	家庭ごみ有料化を実施するための費用
	2千 万円	ごみステーション問題の改善や排出マナー向上
	5百 万円	ごみについての普及啓発・環境教育

- 紙類やせん定枝、蛍光灯などの分別収集や資源化費用
- コンポスト、電動生ごみ処理機などの購入助成費
- 集団回収団体奨励金 など
- 指定ごみ袋の製造、流通費用
- 乳幼児や紙おむつ給付世帯への減免経費 など
- ステーションパトロール隊費用
- 折りたたみステーションの導入費用 など
- 収集カレンダー、小中学生の副読本印刷費 など

さらなる減量を目指して…

「ごみゼロの日」 イベントを開催します

と き 5月30日(金)

10時～11時

ところ イオンモール苫小牧

内 容 生ごみ減量のための「3きり運動」の説明会、ごみ分別・生ごみ堆肥化についての相談会



※参加者に、台所用生ごみ水切りグッズを配布します (数量限定)

市民みなさんの、ごみやリサイクルに対する意識の高まりが、家庭ごみの減量や新たな資源利用などにつながります。”053のまち とまこまい”をみんなで実現しましょう！



が、20年後も安心して暮らすことができ、引き続き、財政基盤の確立と経済活力を基点とした、活気あるまちづくりをチャレンジしてまいります。

市役所の組織はもちろんですが、彼らもたらず新たな力は、まちが更に魅力的に発展するために不可欠なエネルギーとなります。このまちで働き、そしてこのまちに住みたいと考えてもらうための第一歩として、これまで以上に企業や事業者の皆さんと連携し、良質な雇用を創出していかねばなりません。

今年度、市では「人材獲得新戦略」として、時代認識を持った優秀な人材の確保に向け、これまで以上に積極的な職員採用を行うための準備を進めています。民間との合同就職説明会の実施やPR動画製作などの試みを通じて、魅力あふれる苫小牧を知ってもらい、このまちで働いてみたいと思ってもらえるよう、取り組んでまいります。

選ばれるまち 苫小牧

進取果敢

市長コラム
苫小牧市長 岩倉博文